

平成24年度山口県公立高等学校入学者選抜のための学力検査
実施状況等について

1 学力検査受検者数等について

() 内は昨年度の人数及び倍率

課 程 事 項	全 日 制		定 時 制	
第一次募集 の 定 員	6,495 人	(6,581 人)	600 人	(600 人)
志願者数 A	8,137 人	(8,184 人)	207 人	(234 人)
辞退者数 B	223 人	(284 人)	14 人	(12 人)
欠席者数 C	2 人	(11 人)	4 人	(2 人)
受検者数 A-(B+C)	7,912 人	(7,889 人)	189 人	(220 人)
選抜の対象者数 A-B	7,914 人	(7,900 人)	193 人	(222 人)
実質倍率	1.22 倍	(1.20 倍)	0.32 倍	(0.37 倍)

(注1) 第1時限終了時の人数及び倍率である。

(注2) 「第一次募集の定員」及び「志願者数」には、推薦入学及び周防大島高校(普通科・福祉科)・美祢高校で実施している連携型入学者選抜における合格内定者数並びに高森高校と中高一貫教育を実施している高森みどり中学校から同高校への入学予定者数は含まれない。

(注3) 実質倍率は、「選抜の対象者数」を「第一次募集の定員」で割った数値である。

2 学力検査出題概要について

別紙のとおり

《参考》

◎ 学力検査について

(1) 検査教科

国語、数学、社会、理科及び英語

(国語は聞き取り問題を、英語はリスニングテストを含む。)

(2) 配 点

各教科とも50点

(3) 検査時間割

右の表のとおり

検 査 時 間 割 表

時限	教 科	検 査 時 間
1	国 語	9:00 ~ 9:50 (50分)
		(休 憩)
2	数 学	10:10 ~ 11:00 (50分)
		(休 憩)
3	社 会	11:20 ~ 12:10 (50分)
		(昼 食)
4	理 科	13:00 ~ 13:50 (50分)
		(休 憩)
5	英 語	14:10 ~ 15:00 (50分)

◎ 今後の日程について

(1) 選抜結果の発表

3月15日(木) 午前10時

(2) 第二次募集実施校等発表

3月15日(木) 午後3時30分

(3) 補欠合格者発表(全日制)

3月19日(月) 午後2時

(別 紙)

平成24年度学力検査について

平成24年(2012年)3月8日

【全体の出題概要】

平成24年度の学力検査の出題については、中学校教育の充実と発展に資するよう、学習指導要領に準拠しつつ、以下のとおりとした。

- 1 基礎的・基本的な内容と応用的な内容について、均衡を図って出題した。
- 2 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題した。
- 3 受検生の興味や関心などが生かされるよう、例年どおり全教科にわたり選択問題を出題した。

なお、中学校学習指導要領の特例により、平成21年度に先行実施された中学校第1学年数学・理科、平成22年度に先行実施された中学校第2学年理科及び平成23年度に先行実施されている中学校第3学年数学・理科の学習内容についても出題した。

【各教科の出題概要】

(国 語)

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域及び〔言語事項〕から、基礎的・基本的な事柄について出題するとともに、相互の関連や均衡に配慮し、表現力、理解力、思考力などを総合的にみることとした。

- 1 文学的文章について、筆者の考え方やとらえ方を読み取ったり、詩の表現の特徴を理解したりする総合的な理解力をみることとした。また、作文の力もみることとした。
- 2 説明的文章について、漢字の読み書きや口語文法に関する基礎的な力をみるとともに、論理の展開や文章の構造を適切に読み取る力をみることとした。
- 3 選択問題は、古文と漢文から出題し、古典を読むための基礎的な力とあわせて、話の展開を確かめながら内容を把握する力をみることとした。
- 4 聞き取り問題は、話の内容を正確に聞き取り適切に表現する力や、聞き取った内容を表にまとめ、それをもとに思考し判断する力をみることとした。

(社 会)

地理・歴史・公民の各分野から、分野間の均衡や関連に配慮しながら、社会的事象についての基礎的・基本的な知識や概念の理解に加え、思考力、判断力、表現力、資料活用の技能などを総合的にみることとした。

- 1 基本的な事項・事柄についての知識や概念を身に付けているかをみることとした。
- 2 地図、統計、絵画などの資料を活用し、考察した結果について、適切に表現できるかをみることとした。
- 3 社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察できるかをみることとした。
- 4 世界地理については、選択問題を設け、中学校の地理学習への対応を図ることとした。

(数 学)

「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の4領域及び各学年での学習内容の均衡を図りながら、基礎的・基本的な内容についての知識や技能の習得の状況をもとに、数学的な見方や考え方、表現・処理する力をみることにした。

- 1 基礎的・基本的な内容について、知識や概念の理解及び計算技能の習得の程度をみることにした。
- 2 数と式、関数、確率について、理解の程度をもとに、数学的な見方や考え方及び表現・処理する力をみることにした。
- 3 図形の性質や計量について、理解の程度をもとに、論理的に思考する力及び数学的に表現する力をみることにした。
- 4 選択問題は、「数と式」と「図形」の領域から出題し、興味・関心に応じて選択できるようにした。

(理 科)

第1分野、第2分野及び各学年での学習内容の均衡に配慮しながら、観察、実験を題材とした基礎的・基本的な事項を中心に出题し、自然を科学的に調べる能力、自然の事物・現象についての知識や理解、科学的な見方や考え方などをみることにした。

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているかをみることにした。
- 2 観察、実験を目的意識をもって行い、得られた結果を科学的に考察し、表現できるかをみることにした。
- 3 自然の事物・現象を客観的にとらえ、合理的に判断し、筋道を立てて考察、推論することができるかをみることにした。
- 4 選択問題は、観察、実験の技能に関する力をみることにし、第1分野の化学的領域と第2分野の生物学的領域から選択できるようにした。

(英 語)

「聞くこと」「話すこと」「書くこと」「読むこと」の4領域の関連や均衡に配慮しながら、基礎的・基本的な事項の習熟の程度をもとに、対話などを聞いて理解する力、英文を的確に読み取る力、場面に合った内容を英語で適切に表現する力などをみることにした。

- 1 リスニングテストについて、身近な事柄に関する対話などを聞いて、要点を正しくとらえる力、適切に応答する力、必要な情報を書き取る力をみることにした。
- 2 対話文を読んで、日常的な会話表現を使う力、内容を理解して資料を活用する力、前後の流れから判断して英語で適切に表現する力などをみることにした。
- 3 比較的長い英文を読んで、文脈を正しく理解し、概要や要点を的確にとらえる力をみることにした。
- 4 選択問題は、場面に合った内容を英語で適切に表現する問題と身近な話題に関する英文を読んで内容を理解する問題から選択できるようにした。